



昔遊びの体験と地域の方々との交流



2月5日(木)、下市あきつ学園にて、1年生を対象とした『昔遊び体験』が開催されました。当日は、日頃より学校教育を支えてくださる学校支援ボランティアや更生保護女性会、総勢17名の皆さまにご協力いただきました。

昔あそびを体験させることは、現代の子どもたちの遊びに失われている、他者との協調、他者の尊重、他者への思いやりの気持ちを育むことや集中力や

創造力を育むことをねらいとしています。子どもたちは、お手玉やけん玉、竹とんぼ、コマ回しなど、初めて触れる遊びにも挑戦。地域の方々の丁寧で心温まるご指導により、会場のあちこちから「できた!」「上手やな!」といった歓声があがり、世代を超えた交流が深まりました。

子どもたちは、昔の遊びに思いを馳せ、たいへん貴重な体験となりました。ご多用の中、ご支援やご指導いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



下市こども園 保育参観

▼2月20日(金)、こども園での保育参観が行われました。子どもたちの日頃の活動の成果を保護者の皆さまにご覧いただくことができました。▼お友だちと動きや音を合わせる経験は、協調性や社会性を育てる良い機会です。また、言葉や身体の動き、音などで、気持ちや考えを表現する力を育みます。▼まさに、思考力・判断力・表現力の育みです。こども園での遊びや活動があきつ学園の学びへと確実に繋がっています。



ぞう組



ひよこ組・うさぎ組



くま組



きりん組

Topic news

下市町の教育は 〈教育評価支援委員会〉

▼本年度の下市町の教育について、「第2期下市町教育大綱」に基づき検証していただきました。委員は元教育長の藤田謙治氏と正福寺住職の徳岡見英氏の2名です。▼事前に園・学校から提出された令和7年度の保育・教育活動の自己分析結果をご覧いただき、貴重なご意見をいただきました。▼検証結果については議会に提出し、詳細は今月中に、令和8年度下市町学校園教育推進方針とともにホームページで掲載します。▼本年度は、保護者の皆さまや教職員へのアンケートやパブリックコメントを実施、そして、2回の教育総合会議を経て「第3期下市町教育大綱」(令和8年度～令和12年度)を策定しました。これは、下市町の園・学校教育の推進に向けて拠り所(よりどころ)となるものです。



学ぶ力育成実践研究事業 ～奈良県教育委員会指定研究～

▼あきつ学園が奈良県教育委員会指定研究を受けて、今年で3年目となります。1月27日(火)に公開研修会を実施しました。公開した授業は、第1学年・第6学年・第8学年の3学年でしたが、『子どもたちが自ら学ぶ授業づくり』を全職員の共通理解のもと取り組んでいます。公開授業後は、県内から、訪れた約20名の先生方を交えて、グループで研究協議を行いました。県教委義務教育課の先生からは、「子どもたちは、自分の考えを相手にしっかり伝えようとしています。」「学習の定着を図るために、授業の振り返りを徹底して取り組まれています。」等の講評をいただきました。



▼第3期下市町教育大綱では、『ふるさと下市に愛着と誇りをもち、新たな価値を生み出す力とたくましく生きる力を育む』というスローガンのもと、子どもたち一人一人が未来を創っていく主役となるよう、可能性を最大限に引き出す教育を行うことを、本町がめざす方向性として示しています。これからも、子どもたちが『学びに向かう力』のさらなる向上を期待します。

下市町 ニュースポーツ体験会 ～初心者の方大歓迎～

日時&場所：令和8年3月29日(日) 午前9:00～12:00 下市町総合体育館
対象年齢：前期課程以上で年齢上限なし(家族参加OK)
競技種目：○モルック ○囲碁ボール ○ボッチャ ○ゲートボール



※お申し込みは、地区体育委員または、町総合体育館へ申込用紙をご提出ください。

「♪春よ来い、早く来い・・・♪」。▼毎年3月6日頃から3月20日頃にかけて、二十四節気の啓蟄(けいちつ)と呼ばれています。▼「春の気配を感じて、冬ごもりをしていた生き物たちが土の中から出てくる頃」という意味です。ただし、『熊』の出没がないことを祈ってます。



ご意見・お問い合わせは…
下市町教育委員会事務局
☎ 0747-52-1711
FAX 0747-52-5159
✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp